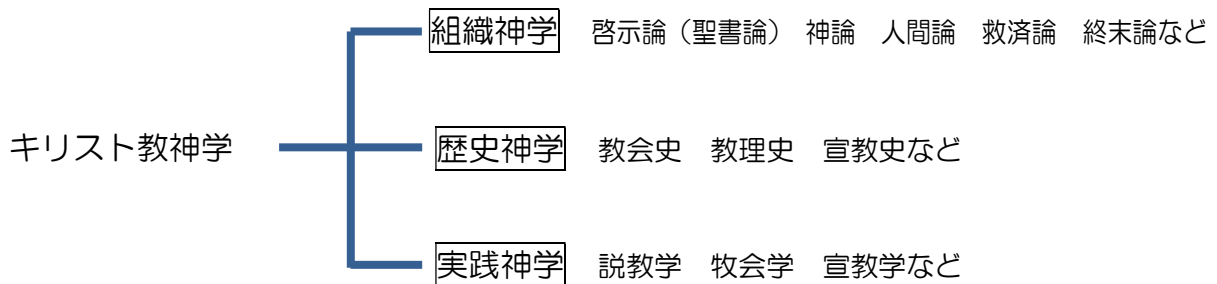


## 序 —キリスト教神学—

- \* 古代カトリック時代においては、三位一体やキリスト二性論などにおいて異端との戦いがあり、その都度、教会が依って立つ信条が取り決められ、それを裏付けるキリスト教神学が生み出されて行った。
- \* 神学は信条の侍女としての学問である。
- \* 信仰があって神学がある。神学(理性)によって信仰が生み出されることはない。
- \* 信仰は、神(聖霊)によって上より与えられるものである。
- \* ただ、神学は、私たちの信仰を体系的に整理し、黙想の中で深めることができる。

キリスト教神学の体系



## 第1回 聖書について (A)

### I 啓示の神

- \* 人間の墮罪によって、人は神と断絶し、人間性(神の像)を喪失してしまった。神のことがわからない。信じることができない。
- \* 神がご自身を現わし、神が語ってくださらなければ、神を信じることができない。

#### 1. 一般啓示(直接的啓示)

(1) 自然界(宇宙)

(2) 歴史(神の摂理)

(3) 人間の存在(心と身体)

## 2. 特殊啓示（直接的啓示）

### （1）イエス・キリストの事実

- \* 先在、受肉、生涯、十字架の死、復活、昇天をとおし、神を表わされた。
- \* 「わたしを見た者は、父を見たのである」(ヨハネ 14:9)。
- \* ヨハネは、イエスのうちに神の栄光を見た(ヨハネ 1:14)。

### （2）聖書 文書啓示

## II 神の言葉としての聖書

### 1. 日本ホーリネス教団信仰告白 「一 聖書」

「旧新約聖書六十六巻は、神の靈感を受けて書かれた誤りのない神の言葉であり、キリストを啓示し、福音の真理を示すものである。聖書はわたしたちの信仰と生活の基準であり、教会の唯一の正典である。」

### 2. 靈感 (inspiration)

- \* 聖書が誤りのない神の言葉であるという理由は、神の靈感によって書かれた書だからである。
- \* 「靈感」(inspiration)とは、聖霊の特別な働きであって、その結果、聖書の原著者が誤り、欠陥、挫折なしに神の真理を理解し、伝達、記録することができたのである。靈感は、聖書の原著者に対する一回限りの聖霊の働きであり、原典においてのみ、聖書は靈感された。
- \* 原典は現存しない幻の書であるが、写本として残っている。聖書の写本は、千分の一の誤差と言われている。長く AD11世紀に書かれたレニングラード写本が、最古の写本と言われていたが、1949年、ベドウィン少年によってクムランの洞窟から死海写本(イザヤ書の写本で、原典から数えて 2 番目に書かれた写本)が発見された。レニングラード写本よりはるかに古い、イエスの時代の頃のものである。発見当初、歴史考古学者たちは、この二つの写本にはかなり相異が見つかるのではないかと推察していたが、一箇所を除いては、全く食い違いはなかったという。

### 3. 聖書の無謬性

- \* 原典において無謬の神の言である。
- \* 著者の言語、思想、内容において無謬である。

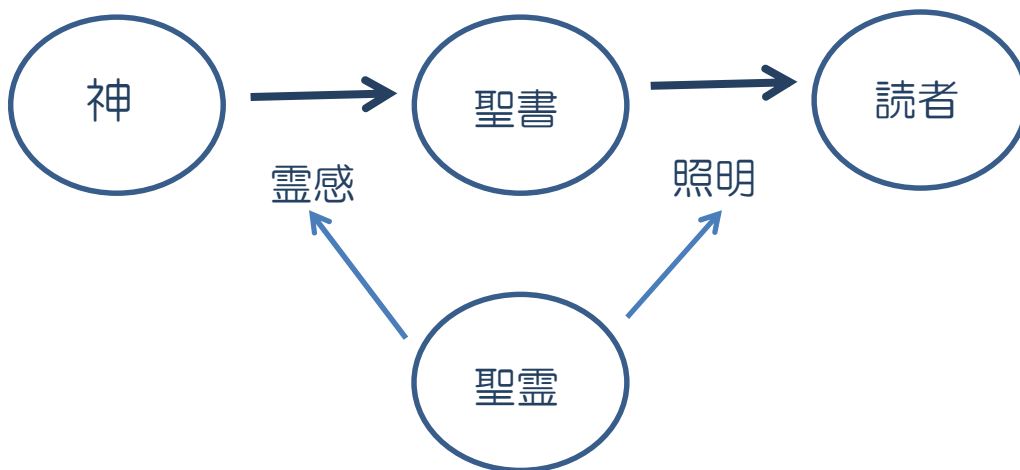
#### 4. 霊感論の諸説

	正	誤
程度	逐語霊感 言語の一つ一つが霊感されている	思想説 思想においては正しいが、不完全な人間の言語には誤謬がある
方法	動力説 著者の個性と人格をとおして書かれた	機械説 非人格的、著者の人格は聖書の成立に何ら関わらない
内容	十全説 聖書全体も部分も霊感されている	部分説 聖書は部分的に正しいとされる神の言を含む

#### 5. 次の聖書観の中で正しいものを1つ選べ

- ① 聖書＝神の言≠人の言 [聖書は神の言葉であって、人の言葉ではない]
- ② 聖書＝神の言＋人の言 [聖書は神の言葉と人の言葉からなる]
- ③ 聖書≠神の言＝人の言 [聖書は神の言葉ではなく、人の言葉である]
- ④ 聖書＝神の言＝人の言 [聖書は神の言葉であり、人の言葉である]

#### 6. 霊感 (inspiration) と照明 (Illumination)



(1) 霊感 原著者に対する聖霊の働き

(2) 照明 読者に対する聖霊の働き